

ASA
大田中央

ASA
東大井

Presents

2007.8月

ASAスタッフは町歩き達人でもある。朝日新聞販売店発ご近所散歩ミニミニ

よ・く・回・的

No.4
(毎月25日発行)

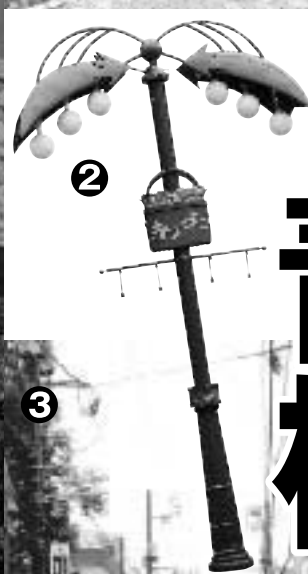


①朝ならではの楽しみ 朝からお客さんが絶えないという「青物横丁」駅前の喫茶店に入る。お目当ては、創業以来20年以上続いているモーニングセット。お皿の上には香ばしいバターロールにポテトサラダと卵。グリーンサラダにフルーツも！
珈琲専門店「カフェムジカ」
品川区南品川2-4-1

マスターの村上さんが「香り高い朝の一杯」を丁寧に煎れてくれる。



モーニングBセット+珈琲(540円)
好きな飲物にグラス100~150円で、3種類のモーニングセットから選べる。



②大通りにスイス！
ジュネーヴ平和通りという名の駅前的大通りには、「あおよこ」オリジナルの街灯が連なる。



青物魚鰻 横丁の瓜受

“おいしい鰻屋さんがある”という噂を聞き、朝から青物横丁へ。江戸末期、この地に農民が収穫物(青物)を持ち寄って市を開いたことから名付けられたといわれる、旧東海道の由緒ある町。鰻屋さんに立ち寄る前に、駅前を散策することにした。



④これもお地蔵さんなんです
街道沿いの、品川区で最も古い品川寺。門前では、座高2m75cmの大きなお地蔵さんが迎えてくれた。江戸の六街道の入口に建立された「江戸六地藏」の第一番。

⑤海の守り神
山門の脇で、宝篋印塔を背負って踏ん張る亀と目が合った！

③旧東海道を進む 大通りを横断するように延びる旧東海道。江戸時代には品川(ほんせん)寺の門前町屋として栄え、「観音前」と呼ばれていた一帯。歩いていると、街道の古い石造りの建物や銅の看板が目が止まる。

⑥樹齢600年の大銀杏 境内では大銀杏の葉が、小さな日陰をいくつも作る。

⑦洋行帰りの大梵鐘
1867年のパリ万博に出品され、行方不明になっていたが、1930年にスイスのジュネーヴから70年ぶりに返還された鐘。世界を旅した鐘は、大晦日の夜なら、誰でもつくことができる。



品川寺 品川区南品川113-5-17



8

⑧台所の神様がいる海雲寺へ 品川寺と同じく旧東海道沿いにある海雲寺。台所(かまど・火)の神様として有名な千手荒神を奉る。お堂の天井に、びっしり描かれている纏図に息をのむ。真ん中には龍の図が。海雲寺 品川区南品川3-5-21



9

⑨どこへ続いているのか… 旧東海道から大通りを渡る。ガソリンスタンドの脇に気井に、びっしり描かれている纏図に息をのむ。真ん中には龍の図が。先を行く人影に、つられて入り込んでみる。



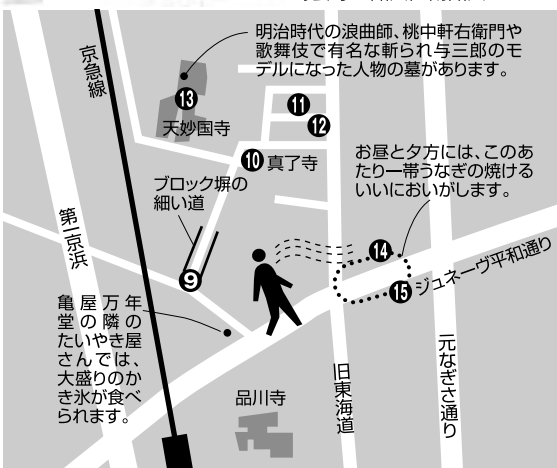
10

⑩ぬっと現れたゾウの門路地の先で出会ったのは、ブロンズの門…? 柱を支えているのは2匹のゾウ。彫刻家、大森達郎氏の制作した真了寺の山門だった。



11

⑪そしてまた路地 真了寺を通り過ぎるとまたまた路地。両側の家のテレビの音や生活音が聞こえる道の狭さに、懐かしさを感じる。



明治時代の浪曲師、桃中軒右衛門や歌舞伎で有名な斬られ与三郎のモデルになった人物の墓があります。

お屋と夕方には、このあたり一帯うなぎの焼けるいいにおいがします。



12

⑫突然タイムスリップ? 路地を抜け、再び旧東海道へ。大正時代の建物そのままの豊屋さんが目に飛び込んでくる。「日本の古きよきものを、後世に残したい」と、7代目の松岡さんは先代から受け継いだものを大切に守っている。豊松岡 品川区南品川2-8-25



13

⑬涼を感じさせる広い境内 豊屋さんからすぐ、広い境内がある天妙国寺。午前中のせいか、他に参拝者はいなかった。境内に静かに吹き込むそよ風も独り占め。天妙国寺 品川区南品川2-8-23



12

⑭青物横丁の老舗スーパー 大通りのスーパー「平野屋」さんは1800年創業。まだちゃんまげの時代から野菜を売り、今は肉・魚、お総菜等幅広い品揃え。時代を越えて青物横丁の台所を支えている。看板の似顔絵は社長さん。

⑮これが目的の鰻丼だ! お屋にさしかかり、大通りから鰻の焼ける香りが漂ってきた。今回の目的、鰻屋丸富さん。「ここの鰻は毎日でも飽きないぜ!」と、隣りに座った常連さん。益々期待が膨らんだ所で、丼いっぱい肉厚の鰻がのった鰻丼が登場! 脂がたっぷり乗っているのに不思議とさっぱりした口当たり。甘辛いたれがまたたまらない…あつという間に完食。奥の深い青物横丁の街並みと丸富さんの鰻の威力に、夏バテなど吹き飛ばしてしまった今回の町散歩だった。丸富 品川区南品川2-2 11:00~14:00、16:30~19:30 日祝・土曜夜休 ※土用の丑の日(7/30)は予約制でお持ち帰りのみ。売り切れ御免。



15

鰻丼 (1,250円)

「おいしい鰻がお客さんには出したくない!」と、丸富2代目の内藤さん。昼3時間、夜3時間の営業時間で、一日200食位の鰻が出るそう。



※次回は、大田区池上4丁目界隈をお散歩予定です。